



Joie™

i-AnchorFix base

アイ・アンカー フィックスベース専用シート

i-Anchor

アイ・アンカー 取扱説明書 / 保証書



⚠ 危険



本製品単体ではチャイルドシートとして使用できません

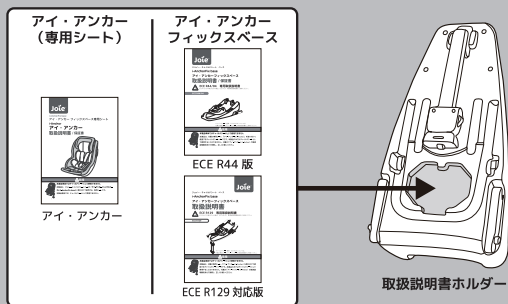
本製品は、ジョイー・チャイルドシートベースの『**アイ・アンカーフィックスベース**』(i-AnchorFix base)に取り付けて使用する、専用シートです。

本製品単体では、チャイルドシートとして使用できません。

必ずお読みください！！

本製品は、自動車の座席に取り付けて使用するチャイルドシートです

本製品は、ジョイー・チャイルドシートベース、『アイ・アンカーフィックスベース』(i-AnchorFix base)に取り付けて使用する欧州基準適合のチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、別梱包の『アイ・アンカーフィックスベース』の背面にある取扱説明書ホルダーに、『アイ・アンカーフィックスベース』の取扱説明書(ECE R44/04 版および ECE R129 版)と一緒に大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



『アイ・アンカーフィックスベース』(別梱包) 背面の取扱説明書ホルダーに保管してください。

アイ・アンカー

本製品は、別梱包の『アイ・アンカーフィックスベース』に、自動車の進行方向に向かって、後ろ向き、または前向きに取り付けて使用するチャイルドシート用の座席部分です。『アイ・アンカーフィックスベース』をあらかじめ自動車の座席に取り付けた上で、本製品を取り付けます。本製品単体では使用することはできません。

i-Anchor

もくじ

アイアンカーフィックスベース(i-AnchorFix base)の取扱説明書を併せて確認すること!!

ECE R44/04 と ECE R129(i-size) について	4	後ろ向き取り付けでの使用	45
『アイ・アンカーフィックスベース』の取扱説明書を併せて確認すること	6	・ECE R44/04 で使用する場合	45
ユーザー登録について	7	・ECE R129 で使用する場合	45
自動車の座席への取り付けについて	7	取り付けかた	46
適合車種	7	リクライニングの調節	50
使用できるお子さまの条件について	8	取り付けの確認	51
内容物の確認	9	お子さまの乗せかた	51
ECE R44/04 での使用の場合	10	肩ベルトの高さ調節	57
ECE R44/04 での使用に関する情報	11	取り外しかた	59
ECE R44/04 での使用に関する条件	12	前向き取り付けでの使用	61
・使用条件	12	・ECE R44/04 で使用する場合	61
ECE R129 での使用の場合	13	・ECE R129 で使用する場合	61
ECE R129 での使用に関する情報	14	取り付けかた	62
ECE R129 での使用に関する条件	15	リクライニングの調節	66
・使用条件	15	取り付けの確認	66
表記の説明	16	お子さまの乗せかた	67
危険・警告・注意の表記	16	肩ベルトの高さ調節	73
強調・禁止の表記について	16	取り外しかた	75
その他の表記について	17	お手入れのしかた	76
イラストについて	17	パッド類、リバウンドバーのお手入れ	77
本製品の部位、部品の名称	18	シートカバー類のお手入れ	82
使用上の注意	20	乳幼児ベルト類のお手入れ	89
緊急時の操作	31	バックルのお手入れ	91
使いかた	32	本体(樹脂部分)のお手入れ	92
ソフトパッドの使いかた	32	保管のしかた	93
サイドインパクトシールドの使いかた	36	廃棄のしかた	93
バックルの使いかた	38	保証書	94
・バックルの外しかた	38		
・バックルの留めかた	38		
ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節	40		
肩ベルトの長さ調節	41		
・肩ベルトをゆるめる(引き出す)	42		
・肩ベルトを締め付ける	43		
取り付けの準備	44		



i-Anchor

ECE R44/04 と ECE R129(i-size) について

本製品は、専用のチャイルドシートベース、『アイ・アンカーフィックスベース』（別梱包）に取り付けて使用するチャイルドシートです。

ECE R44/04、ECE R129 は、それぞれ、チャイルドシートの基準であり、本製品と『アイ・アンカーフィックスベース』はこのいずれの基準にも適合しております。

このため、『アイ・アンカーフィックスベース』（別梱包）の取扱説明書は、ECE R44/04 専用取扱説明書と ECE R129 専用取扱説明書に分かれています。

このいずれの基準によりチャイルドシートをご使用いただくかは、取り付ける自動車の座席の対応状況により異なります。

まず、本製品（および『アイ・アンカーフィックスベース』）を取り付ける自動車の取扱説明書のチャイルドシートの取り付けに関する項目を確認してください。

チャイルドシートの取り付けに関する項目において、ECE R129(i-size) 対応との記載がある場合は、『アイ・アンカーフィックスベース』（ECE R129 専用取扱説明書）および本書を参照します。

チャイルドシートの取り付けに関する項目において、ECE R129(i-size) 対応との記載がない場合、または ECE R44/04 対応との記載がある場合には、『アイ・アンカーフィックスベース』（ECE R44/04 専用取扱説明書）および本書を参照してください。

なお、ECE R44/04 対応、ECE R129 対応、いずれの記載もない場合も、『アイ・アンカーフィックスベース』（ECE R44/04 専用取扱説明書）および本書を参照してください。

i-Anchor

自動車の 取扱説明書の記載	取り付けの方法	参照する取扱説明書	その他
ECE R44/04 対応	3点式シートベルト または ISO-FIX	 ECE R44/04 版 本書 + アイ・アンカーフィクスベース (ECE R44/04 版)	適合車種情報を参照
ECE R129(i-size) 対応	ISO-FIX	 ECE R129 版 本書 + アイ・アンカーフィクスベース (ECE R129 版)	
ECE R44/04 ECE R129(i-size) いずれの記載もない	3点式シートベルト	 ECE R44/04 版 本書 + アイ・アンカーフィクスベース (ECE R44/04 版)	

i-Anchor

『アイ・アンカーフィックスベース』の取扱説明書を併せて確認すること

本製品をご使用いただくにあたって重要な情報（チャイルドシートに関する重要な情報、使用上の注意、取付不可能な座席の情報、使用方法など）が、『アイ・アンカーフィックスベース』（別梱包）の取扱説明書に記載されています。

『アイ・アンカーフィックスベース』の取扱説明書は、『アイ・アンカーフィックスベース』のパッケージに同梱されており、自動車への取り付け方法及び準拠する基準により、以下の2種類に分かれています。

・ECE R44/04 専用取扱説明書：シートベルトおよび ISO-FIX による取付

・ECE R129 専用取扱説明書：ISO-FIX (i-size) による取付

必ず、本書と併せて、いずれかの『アイ・アンカーフィックスベース』の取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。



ECE R44/04 版



ECE R129 版

ポイント！

本製品を取り付ける自動車の取扱説明書において、ECE R129(i-size)に関する記載がない場合は、ECE R44/04 版の『アイ・アンカーフィックスベース』取扱説明書をご利用ください。



i-Anchor

ユーザー登録について

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたしております。本製品は、日本国内で使用を認められているヨーロッパ統一規則である ECE 基準に適合しております。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適合しない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いいたしております。

お預かりしたお客様の個人情報は、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には利用いたしません。

ユーザー登録はがきは、『アイ・アンカーフィックスベース』の梱包にも同梱されています。お手数ですが、2 通とも郵送いただきますよう、お願い申し上げます。

自動車の座席への取り付けについて

本製品単体では、自動車の座席に取り付けることはできません。取り付けの方法については『アイ・アンカーフィックスベース』(別梱包)の取扱説明書の指示に従い、『アイ・アンカーフィックスベース』を正しく自動車の座席に取り付けた上で、本製品を取り付けてください。

適合車種

『アイ・アンカーフィックスベース』は、一定の条件を満たした、自動車の座席に取り付ける事ができますが、すべての自動車、すべての座席で使用できるとは限りません。本製品と『アイ・アンカーフィックスベース』の組み合わせにより取り付け可能な自動車の座席に関しては、以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。なお、適合車種一覧は適宜更新しております。

ISO-FIX による取り付けの場合には、自動車の仕様変更の可能性がありますので、必ず、実際にお使いになる自動車に付属の取扱説明書の記載により、チャイルドシートと仕様が適合するかをご確認ください。

<http://www.katoji.co.jp/>

i-Anchor

注意

適合情報に関する注意事項

同じ自動車でも、適合する基準、取り付けの方法により取り付けの可否が異なる場合があります。適合車種一覧は、取り付け方法、適合する基準により分かれていますので、それぞれ適合情報を確認してください。

また、ISO-FIX による取り付けの場合には、自動車側の仕様変更の可能性もありますので、必ず、本製品の情報と、実際にお使いになる自動車の取扱説明書の記載を照合して、チャイルドシートの適合性をご確認ください。

使用できるお子さまの条件について

本製品は『アイ・アンカーフィックススペース』に取り付けた状態で、ECE R44/04（ヨーロッパ統一規則）または、ECE R129（ヨーロッパ統一規則）に適合します。

使用できるお子さまの条件は、上記の基準により異なります。

ポイント！

本製品を取り付ける自動車の取扱説明書において、ECE R129(i-size)に関する記載がない場合は、ECE R44/04 版の『アイ・アンカーフィックススペース』取扱説明書をご利用ください。

警告

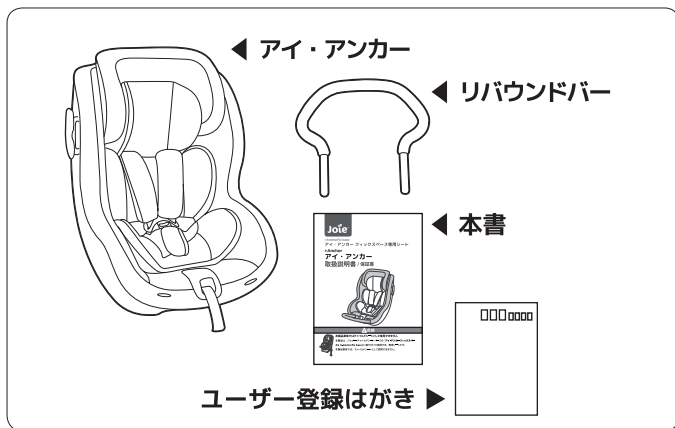
使用できるお子さまの条件を必ず守ること

思わぬ事故につながるおそれがありますので、適合基準により定められる、使用できるお子さまの条件は必ずお守りください。

i-Anchor

内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



本製品は、『アイ・アンカーフィックスベース』に取り付けて使用します。併せて、『アイ・アンカーフィックスベース』（別梱包）の同梱物の内容も、『アイ・アンカーフィックスベース』の取扱説明書の記載に従ってご確認ください。

警告

梱包材に注意してください

本製品を梱包しているビニール袋類は、お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、開梱後は直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。

i-Anchor

ECE R44/04 での使用の場合

お手元に、本書の他、『**アイ・アンカーフィックスベース**』（ECE R44/04 版）の取扱説明書をご準備ください。

※ ECE R129 対応のチャイルドシートとしてご使用になる場合は、P13「ECE R129 での使用の場合」を参照してください。



ECE R44/04 版



本書

本製品(お『アイ・アンカーフィックスベース』に取り付けた状態で、ECE-R44/04(ヨーロッパ統一規則)のユニバーサル仕様、グループ0+、グループIIに適合しており、体重 2.5kg から 18kg までのお子さまにご使用いただけます。

i-Anchor

ECE R44/04 での使用に関する情報

1. 本製品は、欧州のチャイルドシート基準、ECE R44/04 に適合した『アイ・アンカーフィックススペース』に取り付けて使用するシートであり、一定の条件を満たした ECE R44/04 対応の汎用 ISO-FIX 固定バーまたは ECE R16 またはそれに準じる基準に適合した 3 点式シートベルトにより自動車の座席に固定された『アイ・アンカーフィックススペース』に取り付けて使用することができます。
2. 本製品は、全ての自動車の全ての座席に取り付けできるものではありません。本書の指示に従い、取付可能な自動車の座席に取り付けて使用してください。
3. 内容に不明点がある場合は、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

適合する基準 ECE R44/04 (『アイ・アンカーフィックススペース』に取り付け)

適応体重 体重 2.5kg から 18kg まで

質量グループ ユニバーサル Group 0+/1

サイズ等級 A,C,D に対応する自動車の座席に取付可能*

主な原材料 樹脂・金属・繊維

※自動車の座席が、サイズ等級 A,C,D に対応していても条件により取付られない場合があります。

※サイズ等級は、質量グループと組み合わせてご確認ください。



ECE R44.04: A,C,D
ECE R44.04: ISOFIX

i-Anchor

ECE R44/04 での使用に関する条件

▶ 使用条件

取り付けの向き	取り付け方法	おさまの条件	リクライニング ^{※4}
 後ろ向き取り付け	※1 3点式シートベルト または ISO-FIX	体重 2.5kg ^{※2} ~ 18kg 目安年齢: 新生児 ^{※3} ~ 4歳頃	 1 ~ 7 まで使用可
 前向き取り付け	※1 3点式シートベルト または ISO-FIX	体重 9kg ~ 18kg 目安年齢: 1歳頃 ~ 4歳頃	 1 ~ 7 まで使用可

※1 取り付け方法について

全ての座席に取り付けできるとは限りません。

※2, ※3 使用開始可能な月齢

ここでいう新生児とは、出生時の体重が2,500g以上、かつ胎週数が37週間以上のおさまを指します。

※4 リクライニングについて

上図の、リクライニングの操作は、『アイ・アンカーフィックスベース』により行います。本製品そのものにリクライニング機能はありません。『アイ・アンカーフィックスベース』の取扱説明書(ECE R44/04版)をご確認ください。

本製品は、体重9kg以上のおさままでであれば、前向き取り付けも可能ですが、条件に適合している間は、後ろ向きでの取り付けを推奨します。



ポイント！

使用に関する条件は、ECE R129(i-size) による取り付けの場合と異なります。

ソフトパッドの使用方法については、P32「ソフトパッドの使いかた」を参照してください。

i-Anchor

ECE R129 での使用の場合

お手元に、本書の他、『アイ・アンカーフィックスベース』(ECE R129 版)の取扱説明書をご準備ください。

※ ECE R44/04 対応のチャイルドシートとしてご使用になる場合は、P10「ECE R44/04 での使用の場合」を参照してください。



ECE R129 版



本書



ポイント！

取り付ける自動車の取扱説明書において、ECE R129(i-size) 対応のチャイルドシートについての記載がない場合は、ECE R129 対応のチャイルドシートとしては使用できません。P10「ECE R44/04 での使用」を参照してください。

警告

ECE R129 (i-size) に対応した全ての座席で使用できるとは限りません
ECE R129(i-size) に対応した自動車の座席でも、一定の条件によっては、本製品を使用することができない場合があります。

本製品は『アイ・アンカーフィックスベース』に取り付けた状態で、ECE-R129 (ヨーロッパ統一規則) に適合したチャイルドシートです。身長 40cm から 105cm までのお子さまにご使用いただけます。

i-Anchor

ECE R129 での使用に関する情報

1. 本製品は、欧州のチャイルドシート基準、ECE R129 に適合した『アイ・アンカーフィックスベース』に取り付けて使用するシートであり、一定の条件を満たした ECE R129 対応の汎用 ISO-FIX 固定バーより自動車の座席に固定された『アイ・アンカーフィックスベース』に取り付けて使用することができます。
2. 本製品は『アイ・アンカーフィックスベース』に取り付けることにより、i-size に対応した自動車の座席に取り付けることができますが、条件により使用できない場合があります。
3. 内容に不明点がある場合は、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

適合する基準 ECE R129 (『アイ・アンカーフィックスベース』に取付け)

適応身長 身長 40cm から 105cm かつ体重 19.5kg 未満
(後ろ向き取付け時は 18.5kg 未満)

i-size i-size に対応した自動車の座席に取付可能*

主な原材料 樹脂・金属・繊維

※自動車の座席が、ECE R129(i-size)に対応していても条件により取付られない場合があります。



ECER129/00 : i-Size

i-Anchor

ECE R129 での使用に関する条件

▶ 使用条件

取り付けの向き	取り付け方法	お子さまの条件	リクライニング ^{※4}
 <p>後ろ向き取り付け</p>	<p>※1 ISO-FIX のみ</p>	<p>身長 40cm ~ 105cm かつ 体重 18.5kg 未満 目安年齢：新生児^{※2} ~ 4 歳頃</p>	 <p>1 ~ 7 まで使用可</p>
 <p>前向き取り付け</p>	<p>※1 ISO-FIX のみ</p>	<p>身長 71cm ~ 105cm かつ 年齢 15 カ月以上^{※3} かつ 体重 19.5kg 未満 目安の年齢上限：4 歳頃まで</p>	 <p>1 ~ 7 まで使用可</p>

※1 取り付け方法について

全ての座席に取り付けできるとは限りません。

※2 使用開始可能な月齢

ここでいう新生児とは、出生時の体重が 2,500g 以上、かつ在胎週数が 37 週間以上のお子さまを指します。

※3 前向き取り付け

身長 71cm 以上かつ年齢 15 カ月のお子さまからのみ、前向きでの取り付けが可能ですが、条件に適している間は、後ろ向きでの取り付けを推奨します。

※4 リクライニングについて

上図の、リクライニングの操作は、『アイ・アンカーフィックスベース』により行います。本製品そのものにリクライニング機能はありません。『アイ・アンカーフィックスベース』の取扱説明書（ECE R129 版）をご確認ください。



ポイント！

使用に関する条件は、ECE R44/04 による取り付けの場合と異なります。

ソフトパッドの使用方法については、P32「ソフトパッドの使いかた」を参照してください。




i-Anchor

表記の説明



危険・警告・注意の表記

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しております。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。

表 記	表記の内容
 危険	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 警告	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 注意	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

強調・禁止の表記について

表 記	表記の内容
	この表示に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表示に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

i-Anchor

その他の表記について

表 記

表記の内容



ポイント！

この表示に付随して記載されている事項は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたいこと、また、本製品をより便利に使用していただくための大切な情報です。

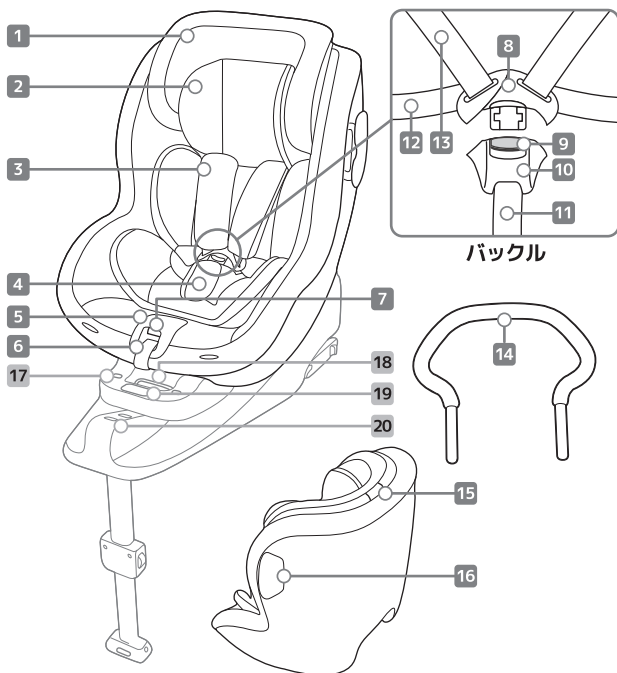
イラストについて

本取扱説明で使用しているイラストは、より理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張等をおこなっており、実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

i-Anchor

本製品の部位、部品の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いております。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。



部位の説明のため、前向き取り付け状態でソフトパッドを取り付けて表記していますが、実際には、前向き取り付け時はソフトパッドは使用できません。

i-Anchor

- 1 ヘッドレスト
 - 2 ソフトパッド
 - 3 肩ベルトパッド
 - 4 股ベルトパッド
 - 5 ベルトアジャスター
 - 6 アジャストベルト
 - 7 アジャスターレバー
 - 8 差込タンク
 - 9 バックルリリースボタン
 - 10 受けバックル
 - 11 股ベルト
 - 12 腰ベルト
 - 13 肩ベルト
 - 14 リバウンドバー
 - 15 ヘッドレストアジャストレバー
 - 16 サイドインパクトシールド
- 以下は、i-AnchorFix base の部位名称です。
- 17 シェルインジケーター
 - 18 リクライニングレバー
 - 19 リリースボタン
 - 20 リクライニングインジケーター
- バックル
- 乳幼児ベルト

i-Anchor

使用上の注意

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しております。

『アイ・アンカーフィックススペース』（別梱包）の使用上の注意をよく読み、その指示に従うこと

本製品を使用するにあたり、お守りいただく必要のある注意事項が『**アイ・アンカーフィックススペース**』（別梱包）に付属の取扱説明書に記載されています。『アイ・アンカーフィックススペース』の取扱説明書は適合基準にあわせ2種類あります。お使いになる方の取扱説明書をお手元にご用意の上、本書下記の危険、警告、注意の各事項と併せ、『アイ・アンカーフィックススペース』の取扱説明書の記載内容を必ずご確認ください。



ECE R44/04 版



ECE R129 版

ポイント！

取り付ける自動車の取扱説明書において、ECE R129(i-size) 対応のチャイルドシートについての記載がない場合、自動車の3点式シートベルトで取り付ける場合はECE R44/04 版をご確認ください。

ECE R129 (i-size) では、自動車の3点式シートベルトでの取り付けが規定されていません。本書において3点式シートベルトに関する記載がある場合は、ECE R44/04 での取り付けに関する事柄となります。

その他の事柄については、ECE R44/04、ECE R129 (i-size) のいずれの場合においても共通となります。

i-Anchor

⚠ 危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

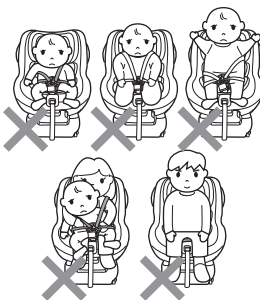
フロントエアバッグを装備している座席では使用しないこと

フロントエアバッグが作動すると、重大な事故につながるおそれがあります。フロントエアバッグを装備している座席ではチャイルドシートを使用しないでください。



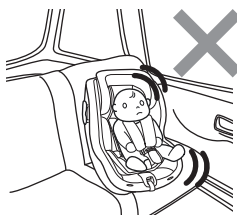
お子さまを正しく固定して使用すること

本取扱説明書の記載に従い、正しく調整して、正しくお子さまを固定してください。規定された条件に適さないお子さまに使用したり、乳幼児ベルト、座席シートベルトを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



本製品単体で使用しないこと

本製品は、『アイ・アンカーフィックスベース』に取り付けてチャイルドシートとして使用します。本製品単体では使用することができません。

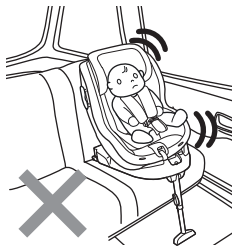


i-Anchor

⚠ 危険

『アイ・アンカーフィックスベース』以外のチャイルドシートベースに取り付けないこと

本製品は、『アイ・アンカーフィックスベース』専用のシートです。当社による指示、指定のないその他のシートベースに取り付けて使用してはいけません。



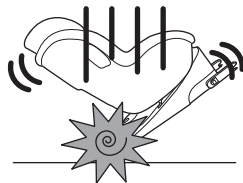
i-Anchor



以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

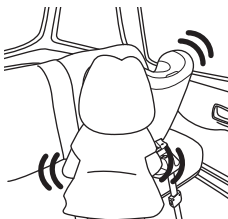
強い衝撃を受けた場合、損傷した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだ、など、一度でも強い衝撃を受けた本製品や『アイ・アンカーフィックスベース』は、使用してはいけません。目には見えない損傷によっても、安全に機能しなくなっている可能性があります。



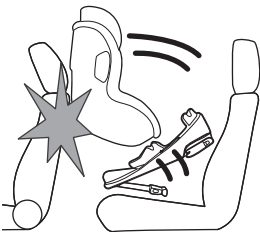
走行前には、毎回、チャイルドシートの取り付け状態を確認すること

他の乗員やお子さまが触れるなどして、本製品や『アイ・アンカーフィックスベース』の必要な固定部位が解除されたりしているおそれがあります。走行前には、毎回、チャイルドシートの状態を確認してください。



車内では本製品および『アイ・アンカーフィックスベース』を必ず固定しておくこと

お子さまが使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、自動車の座席に正しく固定した『アイ・アンカーフィックスベース』に取り付けておいてください。正しく固定、取り付けられていないと、交通事故や急制動の際に本製品や『アイ・アンカーフィックスベース』が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



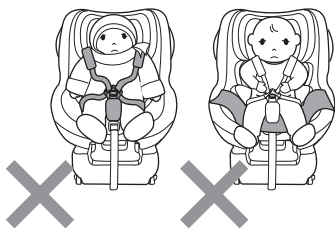
i-Anchor

警告

不適切な着衣で使用しないこと

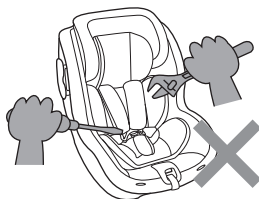
お子さまを正しく固定できず、お子さまがチャイルドシートから落下したり、飛び出したりするおそれがありますので、ケープ、毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、両足が出ない（股ベルトを両足で挟めない）構造の着衣、サイズが大きすぎる着衣で本製品を使用しないでください。厚みのあるダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実に本製品に固定されるよう、乳幼児ベルト等を正しく調整してください。

また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下にしないください。



チャイルドシートの分解、改造をしないこと、および指定外部品を使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品および『アイ・アンカーフィックスベース』の分解、改造をしてはいけません。また、指定外の部品への交換、同梱されていないアクセサリや部品を取り付けて使用しないでください。

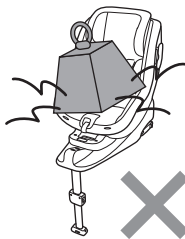


i-Anchor

警告

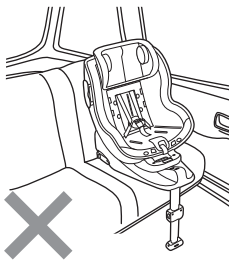
過度の負担を掛けないこと

本製品が損傷し、所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、チャイルドシートに重いものを載せたり、自動車のドアや自動車座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。本製品が損傷した場合、本製品を使用してはいけません。



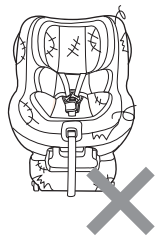
部品を取り外して使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本取扱説明書で別段の指示がない限り、部品を取り外して使用しないでください。シートカバーやウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に、チャイルドシートに貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。



中古品や劣化した本製品を使用しないこと

中古品は、過去の履歴や保管状況、使用状況が不明なため使用してはいけません。また、部品の経年劣化の影響などにより、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、購入日から6年を経過した本製品は使用しないでください。安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。

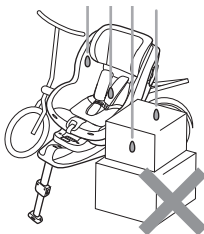


i-Anchor

⚠ 警告

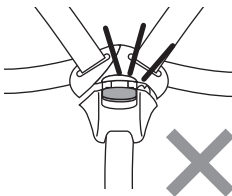
不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気が多い場所、ホコリが多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。



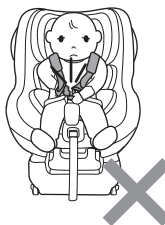
異常が生じた場合は使用しないこと

バックルが正しく留まらない、乳幼児ベルトに損傷がある、乳幼児ベルトを締め付けることができない、などの場合は、ただちに使用を中止してください。



乳幼児ベルトおよびバックルの状態を適宜確認すること

お子さまが身体を動かしたり、乳幼児ベルトやバックルボタンに触れたりすると、お子さまが正しくチャイルドシートに固定されなくなるおそれがあります。お子さまには、バックルには触れないように言い聞かせ、適宜、お子さまが乳幼児ベルトに正しく装着されているかご確認ください。



i-Anchor

警告

お子さまを乗せたまま本製品を持ち上げないこと

お子さまが落下したり、本製品が落下したりするなどして思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえ乳幼児ベルトで正しく固定されていたとしても、お子さまを乗せたまま本製品を持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。



ソフトパッドを正しく使用すること

お子さまを正しく固定するため、ソフトパッドは使用期間、使用方法を守り、正しく使用してください。



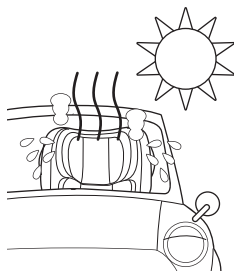
i-Anchor

⚠ 注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

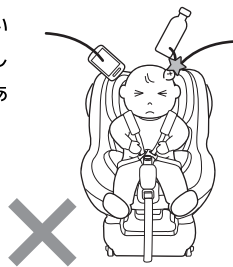
部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、チャイルドシートの金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、日陰に駐車したりチャイルドシートに覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。



i-Anchor

⚠ 注意

本来の目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、『アイ・アンカーフィックスベース』に取り付けて使用するチャイルドシートです。電車やバス、飛行機内で使用したり、通常の椅子として使用したり、買い物カートに載せて使用するなど、本来の目的外では使用しないでください。



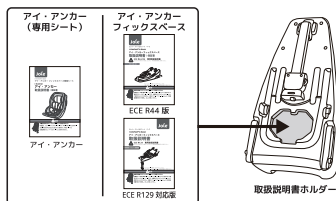
本製品単体の状態でお子さまを乗せないこと

本製品単体では、前後に揺れるためシート状態で安定させておくことができません。本製品単体の状態でお子さまを乗せると、後方に転倒するなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。また、本製品をロッキングチェアの代用としては絶対に使用しないでください。



本書は『アイ・アンカーフィックスベース』の取扱説明書ホルダーに保管すること

本製品は、『アイ・アンカーフィックスベース』に取り付けた状態で使用します。必要なときにいつでも参照できるように、本書は、『アイ・アンカーフィックスベース』本体背面にある取扱説明書ホルダーに、『アイ・アンカーフィックスベース』の取扱説明書と一緒に保管しておいてください。

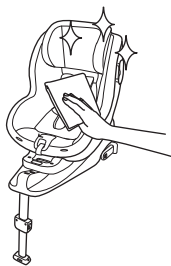


i-Anchor

⚠ 注意

適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。



長時間連続して使用しないこと

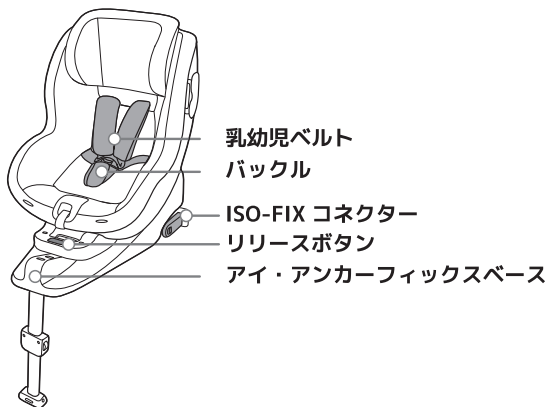
お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまをチャイルドシートから降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。

また、運転の安全のためにもなりますので、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

i-Anchor

緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、あわてず、バックルリリースボタンを押して、乳幼児ベルトを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。この際に、乳幼児ベルトや自動車の座席シートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルリリースボタンが機能しない場合は、『アイ・アンカーフィックスベース』のリリースボタンを操作して本製品を取り外すか、『アイ・アンカーフィックスベース』を固定している自動車の座席シートベルトまたは ISO-FIX コネクタを外して『アイ・アンカーフィックスベース』ごと自動車外に脱出させるか、または、市販のシートベルトカッターなどを使用して乳幼児ベルトを切断し、お子さまを車外に脱出させてください。



ポイント！

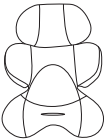

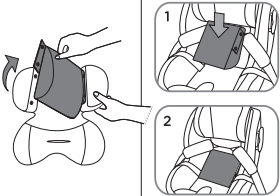
緊急時にお子さまを素早く車外に脱出できるよう、あらかじめ練習するなどして備えておいてください。

i-Anchor

使いかた

ソフトパッドの使いかた

お子さまの体格、成長に合わせ、ソフトパッドを使用してください。

	<p>体重 9kg 未満 かつ 身長 60cm まで 前向き取り付け時は使用できません。</p>
	<p>お子さまの頭部が、ソフトパッドからはみ出すようになったら、ソフトパッドの頭部を取り外して使用します。</p>
	<p>ソフトパッドを使用するとお子さまが窮屈になった場合、背部のクッションを、ソフトパッドから取り外し、座面と背もたれの間を埋めるように取り付けて使用することもできます。</p>

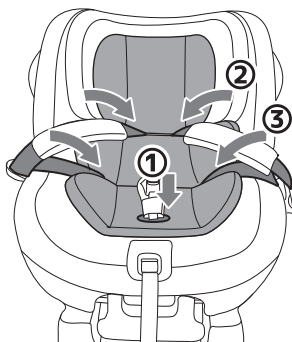
⚠ 注意

ソフトパッドは、お子さまの成長、体格に合わせ、適切にお使いください。

i-Anchor

01

ソフトパッドを取り付ける場合、あらかじめバックルを外し、ヘッドレストを最も低い位置に調節しておきます。①ソフトパッド座面部分の穴を股ベルトに差し入れ、②肩ベルトを図のようにソフトパッドの切れ目部分に差し入れ、③腰ベルトを図のようにソフトパッドの切れ目に差し入れます。取り外す場合は逆の手順で行います。



ポイント！

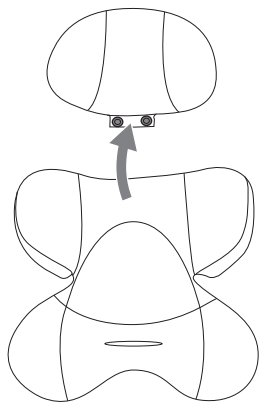
ソフトパッド座面の股ベルト用の穴は小さ目になっています。股ベルトの抜き差しの際には無理をせずゆっくりと抜き差しするようにしてください。

股ベルトパッドを取り外しておくと、作業がしやすくなりますが、ソフトパッドを取り付けた後、必ず、股ベルトパッドも取り付けなおすようにしてください。

i-Anchor

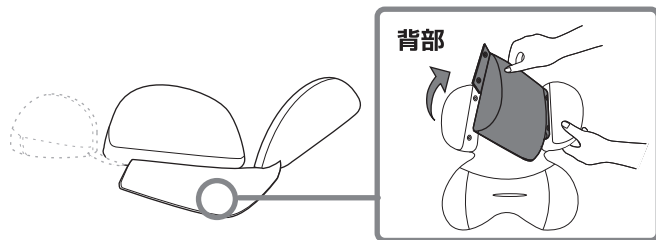
02

ソフトパッドの頭部を取り外す場合は、スナップボタンを外してください。



03

背部のクッションは、ソフトパッド背面のスナップボタンで留められています。スナップボタンを外して取り外してください。クッションを戻す場合は向きがありますので、下図を参照してください。



i-Anchor

⚠ 注意

ソフトパッド、ソフトパッドのクッションを取り外した場合にはお子さまの手の届かないところで保管すること

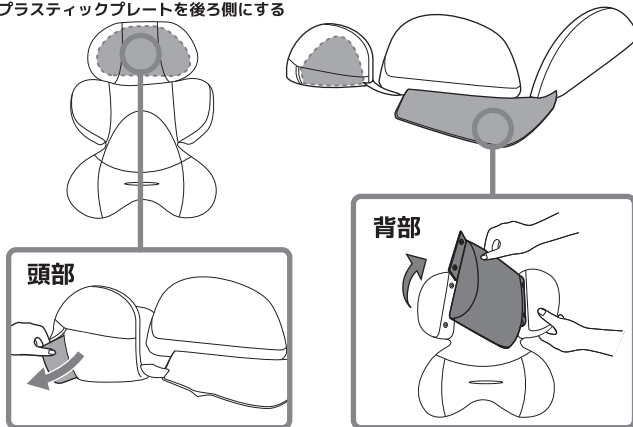
お子さまがイタズラなどしないよう、取り外したソフトパッドやソフトパッドのクッションは、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

04

お手入れのため、背部、頭部のクッションを取り外すことができます。取り外したクッションは、お手入れ後必ず正しく元に戻してください。

クッションには向きがあります。頭部のクッションは下図を参照し、プラスチックプレートの貼り付けてある側を、後ろ側（シート側）にして、取り付けてください。

プラスチックプレートを後ろ側にする



i-Anchor

ポイント！

プラスチックプレート用の切れ目は小さ目になっています。プレートの抜き差しの際には無理をせずゆっくりと抜き差しするようにしてください。

お子さまの成長に合わせ、クッションのみを取り付けて使用することができます。クッションは、背もたれと座面の間に置くようにして使用してください。

危険

クッション、プラスチックプレートを元に戻すこと

お手入れが終わったら、必ずクッション、プラスチックプレートを元に戻してください。クッションを外した状態でソフトパッドを使用しないでください。

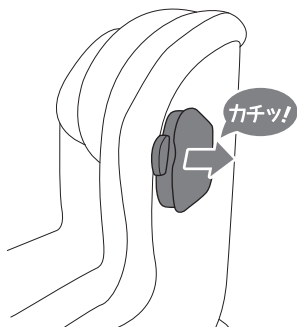
サイドインパクトシールドの使いかた

サイドインパクトシールドは、横方向に対する衝撃を和らげる効果があります。

01

サイドインパクトシールドは、シートの側面左右に取り付けられています。本製品使用中は、サイドインパクトシールドを開いておきます。

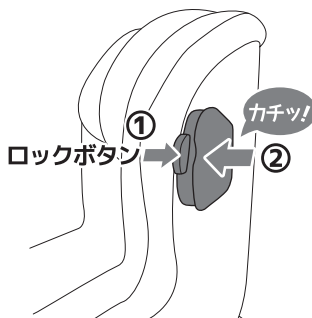
サイドインパクトは外側に「カチッ」と音がするまで引き出して開きます。左右とも同じようにしてください。



i-Anchor

02

サイドインパクトシールドを閉じるには、①ロックボタンを押しながら、②シートに押し込むようにして格納します。



⚠ 注意

サイドインパクトシールドを持って本製品を持ち上げないこと
本製品が破損したり、ケガをするおそれがあります。サイドインパクトシールドを持って、本製品を持ち上げないでください。

👉 ポイント！

サイドインパクトシールドは、チャイルドシートに横方向からの衝撃が加えられ、自動車のドアにチャイルドシートが衝突した場合の衝撃を和らげる目的があります。このため、自動車のドア側ではない方のサイドインパクトシールドは、他の乗員の邪魔にならないよう格納しておくことができます。

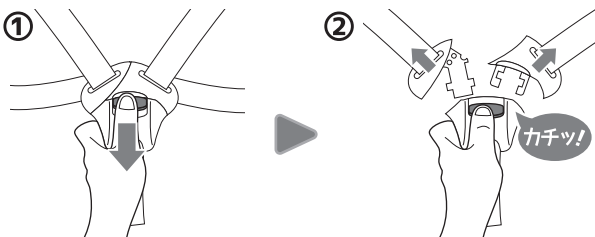
i-Anchor

バックルの使いかた

▶ バックルの外しかた

01

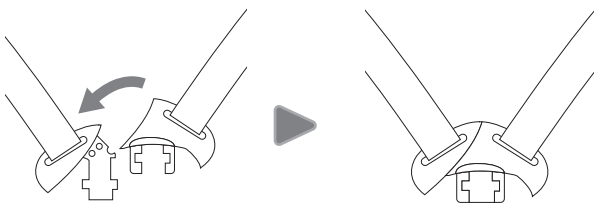
バックルを外すには、①バックルボタンを押し下げます。②「カチッ」と音がして、差込タンクが外れます。



▶ バックルの留めかた

01

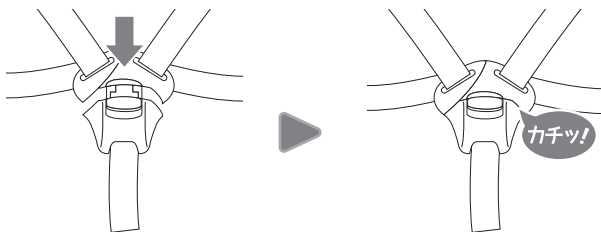
左の差込タンクの上に右の差込タンクを形を合わせて、重ねます。肩ベルトをねじらないようにしてください。



i-Anchor

02

そのまま、差込タングを、受けバックルに差し込みます。「カチッ」と音がするまで差し込みます。



03

軽く肩ベルトを引いて、しっかりとバックルが留まっていることを確認してください。

⚠ 危険

バックルは正しく留めること

バックルが正しく留まっていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合は、ただちに本製品の使用を中止して、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

⚠ 注意

バックルを清潔に保つこと

バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう、お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

i-Anchor

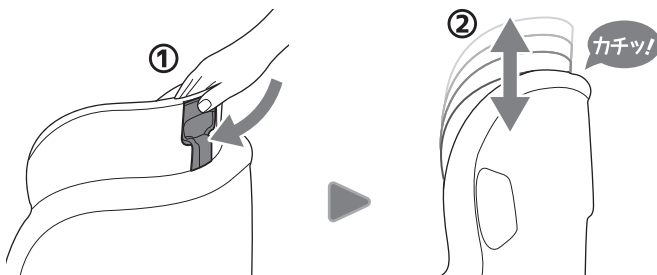
ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

本製品では、ヘッドレストと肩ベルトの高さ調節は連動しています。ヘッドレストの高さを調節すると、自動的に肩ベルトの高さも調節されます。

お子さまの成長に合わせて、ヘッドレストと肩ベルトの高さを適切に調節してください。

01

①ヘッドレストアジャストレバーを握りながら②ヘッドレストを上下にスライドさせて、ヘッドレストの高さを調節します。適当な高さで握った手を放して軽く上下に動かすとカチッと音がしてヘッドレストが固定されます。ヘッドレストの高さは6段階で調節できます。



02

ヘッドレスト（肩ベルト）の適切な高さは、後ろ向き取り付け、前向き取り付けにおいて異なります。

後ろ向き取り付け時の適切な高さは、P57「肩ベルトの高さ調節」、前向き取り付け時の適切な高さは、P73「肩ベルトの高さ調節」をそれぞれご参照ください。

i-Anchor

肩ベルトの長さ調節

肩ベルトの長さは、ベルトアジャスターを使用して調節します。お子さまを正しく固定するため、お子さまの乗せ降ろしを容易にするため、肩ベルトの長さを調節します。

危険

肩ベルトの長さを適切に調節すること

実際にお子さまを乗せ、本製品を使用する場合には、肩ベルトは本書の指示に従い適切な強さで締め付けるようにしてください。ゆるすぎたり、締め付けすぎると、本製品が安全に機能せず、重大な事故につながるおそれがあります。

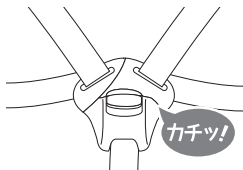


i-Anchor

▶ 肩ベルトをゆるめる（引き出す）

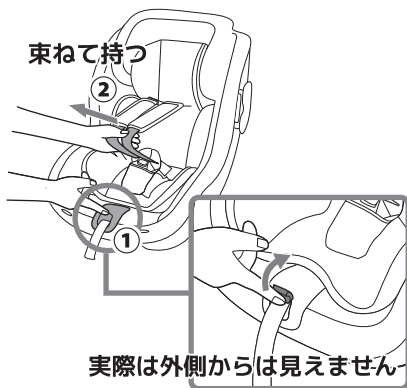
01

あらかじめバックルを留めておきます。



02

片手で左右の肩ベルトを束ねて持ち、①ベルトアジャスターを押し上げながら、②肩ベルトを手前に引くと、肩ベルトが引き出されます。



i-Anchor

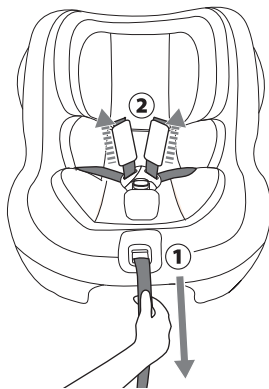
ポイント！

左右の肩ベルトを束ね、左右同時に引かないと肩ベルトをゆるめることができません。

▶ 肩ベルトを締め付ける

01

①アジャスターベルトを手前に引くだけで、②肩ベルトを締め付けることができません(短くなります)。適切な締め付けかたは、後ろ向き取り付け時と前向き取り付け時で異なります。締め付けがゆるい場合だけでなく、締め付けがきつすぎる場合も危険です。必ず、あらかじめ、後ろ向き取り付け時は P55 の (05) を、前向き取り付け時は P71 の (05) をそれぞれ参照して取り付けの向きに応じて正しく締め付けるようにしてください。





i-Anchor

取り付けの準備

本製品は『アイ・アンカーフィックスベース』に取り付けた状態でのみ、チャイルドシートとして使用することができます。

本製品単体ではもちろん、『アイ・アンカーフィックスベース』以外のベースに取り付けて使用することもできません。

危険

本書および本製品本体に記載の取り付け方法以外での取り付けをしないこと
本取扱説明書および本製品の本体に指示されている方法以外での取り付けをすると、事故や衝撃を受けた際に、本製品が座席から外れるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

アイアンカー・フィックスベースが正しく取り付けられない座席では使用しないこと

『アイ・アンカーフィックスベース』が正しく取り付けできない座席には取り付けで使用してはいけません。特に、3点式シートベルトで取り付けで使用する場合（ECE R44/04）は、自動車の座席のシートバックルが長すぎる、高すぎる、前方すぎるなど、『アイ・アンカーフィックスベース』を座席に正しく取り付けできない場合があります。かならず、本製品を使用する前に、取り付けの方法に応じた『アイ・アンカーフィックスベース』の取扱説明書を確認し、『アイ・アンカーフィックスベース』を正しく自動車の座席に取り付けた上で、本製品をご使用ください。

01

先に『アイ・アンカーフィックスベース』を自動車の座席に取り付けた上で、本製品を『アイ・アンカーフィックスベース』に取り付けます。

『アイ・アンカーフィックスベース』の取扱説明書の指示に従い、『アイ・アンカーフィックスベース』を自動車の座席に正しく取り付けます。

ポイント！

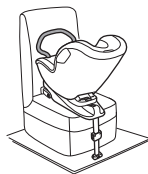
必ず、先に『アイ・アンカーフィックスベース』を自動車の座席に取り付けた上で、本製品を『アイ・アンカーフィックスベース』に取り付けてください。

i-Anchor

後ろ向き取り付けでの使用

本製品を、自動車の進行方向に対して後ろ向きにして『アイ・アンカーフィックスベース』に取り付けます。

ECE R44/04 での使用の場合と、ECE R129 での使用の場合では、条件が異なりますので、ご注意ください。



・ ECE R44/04 で使用する場合

使用可能な範囲	体重 2.5kg から 18kg まで
リクライニング	7 段階（『アイ・アンカーフィックスベース』で調節） ※ただし、首がすわるまでは、リクライニングを最も寝かせた状態で使用してください。
リバウンドバー	取り付けて使用すること

・ ECE R129 で使用する場合

使用可能な範囲	身長 40cm から 105cm まで かつ 体重 18.5kg まで
リクライニング	7 段階（『アイ・アンカーフィックスベース』で調節） ※ただし、首がすわるまでは、リクライニングを最も寝かせた状態で使用してください。
リバウンドバー	取り付けて使用すること

⚠ 危険

使用可能期間を守ること

ECE R44/04 での使用の場合と、ECE R129 での使用の場合では、条件が異なります。『アイ・アンカーフィックスベース』の取付適合の基準に応じて、使用可能期間をお守りください。

i-Anchor

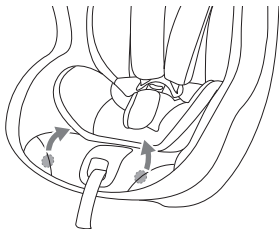
取り付けかた

01

後ろ向き取り付け時のみ、リバウンドバーを使用します。

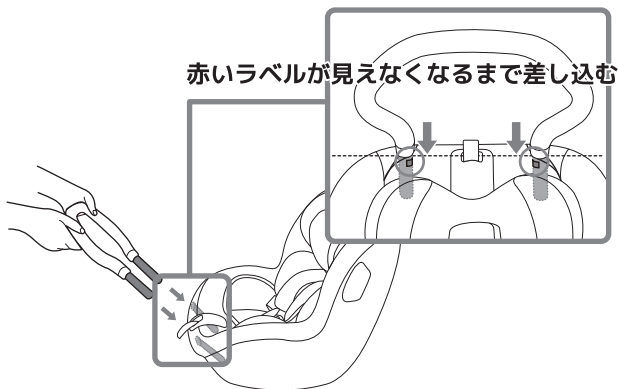
本製品の座面先端左右部分の穴に、リバウンドバーを差し込みます。

リバウンドバーを差し込むための穴は、見えないように生地でカバーされていますので、カバーをめくってください。



02

リバウンドバーに上下はありません。リバウンドバー根元の赤いマークが外側から見えなくなるまで、しっかりと差し込んでください(リバウンドバーの固定機能はありませんので、しっかりと最後まで差し込んでください)。



i-Anchor

⚠ 危険

後ろ向き取り付け時は必ずリバウンドバーを取り付けること

後ろ向き取り付け時、リバウンドバーは本製品の移動を抑える重要な部品です。後ろ向き取り付け時には、必ずリバウンドバーを取り付けてください。



⚠ 注意

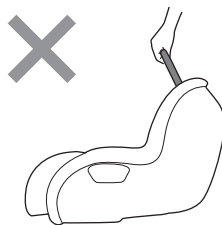
前向き取り付け時はリバウンドバーを使用しないこと

リバウンドバーは、後ろ向き取り付け時専用です。前向き取り付け時は取り外してください。



リバウンドバーを持って本製品を持ち上げないこと

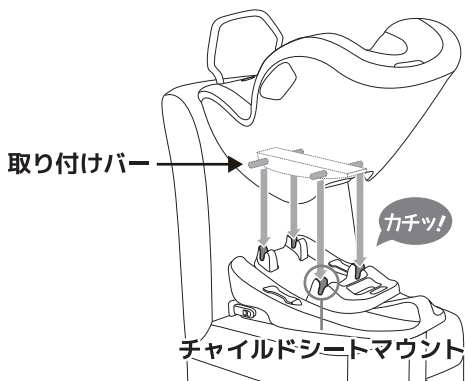
リバウンドバーは、本製品に差し込んで使用します。固定機能はありませんので、リバウンドバーを持って本製品を持ち上げると、リバウンドバーから脱落し、本製品が落下します。



i-Anchor

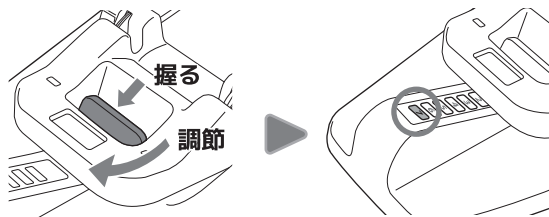
02

『アイ・アンカーフィックススペース』のチャイルドシートマウントに、取り付けバーの位置を合わせて本製品を乗せます。カチッと音がして、『アイ・アンカーフィックススペース』に固定されるまで差し込んでください。



ポイント！

『アイ・アンカーフィックススペース』のリクライニングをあらかじめ「7」に設定しておくと、取り付けがしやすくなります。調節のしかたは P50 を参照してください。

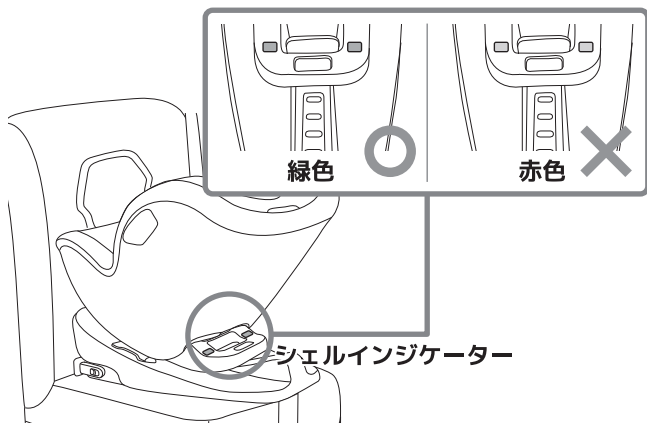


i-Anchor

03

『アイアンカーフィックスベース』の左右のシェルインジケーターが両方とも緑色になっていることを確認します。両方、またはいずれか一方でも赤色の場合には、本製品が正しく取り付けられていませんので、もう一度取り付けなおしてください。

また、念のため、軽く本製品を動かして、確実に『アイ・アンカーフィックスベース』に固定されている事を確認してください。



⚠ 危険

シェルインジケーターが赤色のまま使用しないこと

『アイ・アンカーフィックスベース』のシェルインジケーターは、本製品が『アイ・アンカーフィックスベース』に正しく固定されている事を確認するインジケーターです。両方の場合はもちろん 2 つのシェルインジケーターのいずれか一方でも完全に緑色になっていない場合、そのまま使用してはいけません。

i-Anchor

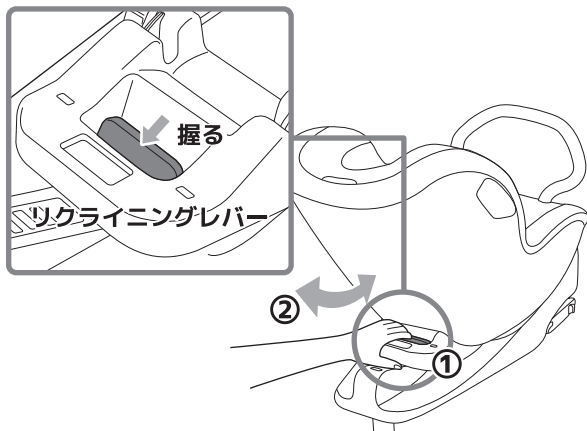
リクライニングの調節

01

『アイ・アンカーフィックスペース』のリクライニングを適切に調節します。首がすわるまで（生後4か月くらい）は、リクライニングは「1」に設定しておきます。

首がすわった後は、お子さまの成長に合わせて、リクライニングを調節してお使いください。

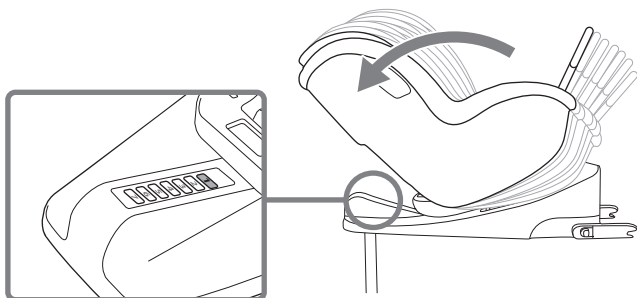
リクライニングを調節するには、『アイ・アンカーフィックスペース』の①リクライニングレバーを握りながら、②前後に動かしてリクライニング角度を調節します。リクライニングは7段階で調節可能で、固定可能な位置でカチッと音がして固定されます。



i-Anchor

ポイント！

お子さまの首がすわるまで（生後 4 か月頃まで）はリクライニングの角度は一番寝かせた状態「1」に設定します。



取り付けの確認

『アイ・アンカーフィックススペース』の取扱説明書を参照し、正しく取り付けができているか今一度ご確認ください。確認項目は、『アイ・アンカーフィックススペース』の取扱説明書の記載（ECE R44/04 版または ECE R129 版）、固定方法（ISO-FIX または 3 点式シートベルト）によって異なりますので、該当する項目を参照してください。

お子さまの乗せかた

注意

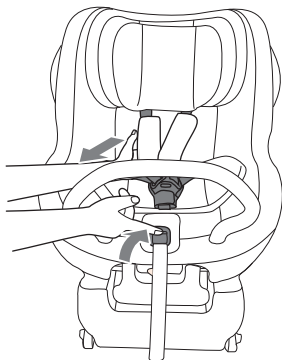
本製品を取り付けてからお子さまを乗せること

『アイ・アンカーフィックススペース』を自動車の座席に固定し、本製品を『アイ・アンカーフィックススペース』に取り付けてから、お子さまを乗せるようにしてください。本製品単体でお子さまを乗せると、安定せず、本製品が転倒するおそれがあります。

i-Anchor

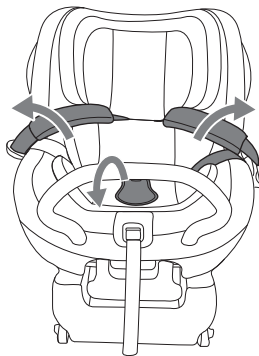
01

P42「肩ベルトをゆるめる（引き出す）」を参照し、あらかじめ肩ベルトをゆるめておきます。



02

お子さまが、受けバックルや差し込みタンクの上に座らないよう、バックルを外し、差し込みタンクを外側に出し、股ベルト（受けバックル）を前側に倒しておきます。



52

i-Anchor

03

お子さまの背筋を伸ばし、股ベルトを両足の間にに入れて、両腕を肩ベルトの間に通し、楽な姿勢にして本製品に座らせます。安全のため、股ベルトがお子さまの骨盤の上を通るようにしてください。



⚠ 危険

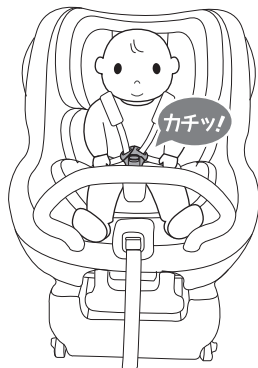
お子さまを正しい姿勢で乗せること

誤った姿勢で乗っていると、お子さまを正しく固定できず、事故や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずお子さまを正しい姿勢で本製品に乗せてください。

i-Anchor

04

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトににねじれがないことを確認して、腰ベルトをお子さまの骨盤の上を通すようにして、カチッと音がするようにバックルを留めます。



警告

乳幼児ベルトをねじらないようにすること

乳幼児ベルトにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認してください。

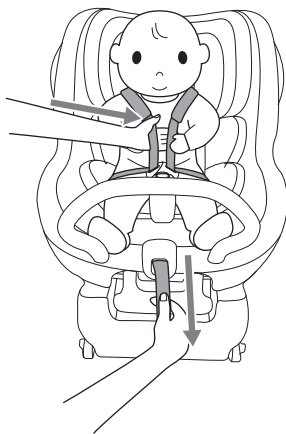
ポイント！

乳幼児ベルトがきつくてバックルが留めにくい場合、P42「肩ベルトをゆるめる(引き出す)」を参照して、肩ベルトをゆるめてください。無理に留めようとししないでください。

i-Anchor

05

肩ベルトとお子さまの間に、片手の掌を差し込んで、別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引っ張り、締めつけていきます。差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間挟まれるまで、アジャスターベルトを締めつけてください。



⚠ 危険

アジャスターベルトは慎重にゆっくりと操作すること

肩ベルトが強くと締めすぎるとおそれがありますので、アジャスターベルトを、勢いよく引っ張らないでください。

強く肩ベルトが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまを正しく保護することができません。必ず、大人の片手の掌が差し込める程度に締めつけるようにしてください。

i-Anchor

06

最後に、もう一度、バックルが正しく留まっているか、肩ベルト、股ベルトに、ゆるみやねじれがないか確認してください。

ポイント！

実際にご使用になる前に、P57の「**肩ベルトの高さ調節**」を確認し、適切な高さに肩ベルトを調節してください。

07

お子さまを降ろすには、バックルを外して、お子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

警告

お子さまを勢いよく降ろさないこと

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合など、重大な事故につながるおそれがあります。肩ベルトに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

お子さまにバックルを触らせないこと

お子さまがバックルボタンに触れると、バックルが外れるおそれがあります。お子さまにはバックルに触れないように言い聞かせ、乗せ降ろしは大人のかたが行うようにしてください。

i-Anchor

肩ベルトの高さ調節

肩ベルトの適切な高さは、後ろ向き取り付け時と、前向き取り付け時で異なりますのでご注意ください。

本製品では、ヘッドレストと肩ベルトの高さ調節は連動しています。ヘッドレストの高さを調節すると、自動的に肩ベルトの高さも調節されます。

お子さまの成長に合わせて、ヘッドレストと肩ベルトの高さを適切に調節してください。

01

あらかじめ肩ベルトをゆるめておきます。



ポイント！

肩ベルトの高さを調節すると、肩ベルトの長さも若干変化しますので、調節時には肩ベルトをゆるめておいてください。

02

後ろ向き取付時には、お子さまの肩の位置よりも低く、かつ最もお子さまの肩の位置に近い高さに調節します。

P40「ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節」を参照し、肩ベルトを適切な高さに調節してください。





i-Anchor

危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは、必ず、適切な高さに調整してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどとして、重大な事故につながるおそれがあります。

注意

やさしく、ゆっくりと操作すること

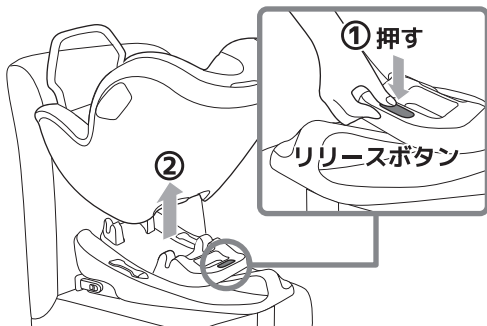
肩ベルトの高さ調節は、お子さまの頭部に負担がかからないよう、やさしく、ゆっくりと操作してください。

i-Anchor

取り外しかた

01

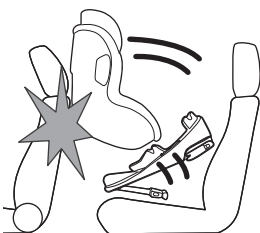
①『アイ・アンカーフィックスベース』のリリースボタンを押して、固定を解除し、そのままゆっくりと②本製品を持ち上げて取り外します。持ち上げる際に、リバウンドバーを持たないようにしてください。



警告

本製品を『アイ・アンカーフィックスベース』から取り外したら必ず車外に出しておくこと

本製品を『アイ・アンカーフィックスベース』から取り外したら、そのまま車内に置いておかないでください。また、『アイ・アンカーフィックスベース』も同様に取り外した場合には車外に出しておきます。本製品や『アイ・アンカーフィックスベース』が正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品や『アイ・アンカーフィックスベース』が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



i-Anchor

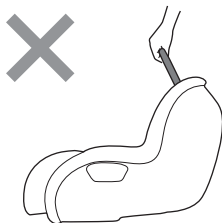
⚠ 警告

お子さまを乗せたまま本製品の取り付け、取り外しをしないこと
お子さまが落下したり、本製品が落下したりするなどして
思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえ乳幼児ベルトで正しく固定されていたとしても、お子さまを乗せたまま本製品を持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。



⚠ 注意

リバウンドバーを持って本製品を持ち上げないこと
リバウンドバーは、本製品に差し込んで使用します。
固定機能はありませんので、リバウンドバーを持って本製品を持ち上げると、リバウンドバーから脱落し、本製品が落下します。

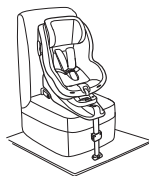


i-Anchor

前向き取り付けでの使用

本製品を、自動車の進行方向に対して前向きにして『アイ・アンカーフィックスベース』に取り付けます。

ECE R44/04 での使用の場合と、ECE R129 での使用の場合では、条件が異なりますので、ご注意ください。



・ ECE R44/04 で使用する場合

使用可能な範囲	体重 9kg から 18kg まで
ソフトパッド	使用しません。
リクライニング	7 段階（『アイ・アンカーフィックスベース』で調節）
リバウンドバー	取り外して使用すること

・ ECE R129 で使用する場合

使用可能な範囲	身長 71cm から 105cm まで かつ 体重 19.5kg まで
ソフトパッド	使用しません。
リクライニング	7 段階（『アイ・アンカーフィックスベース』で調節）
リバウンドバー	取り外して使用すること

⚠ 危険

使用可能期間を守ること

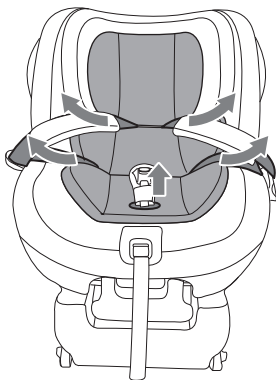
ECE R44/04 での使用の場合と、ECE R129 での使用の場合では、条件が異なります。『アイ・アンカーフィックスベース』の取付適合の基準に応じて、使用可能期間をお守りください。

i-Anchor

取り付けかた

01

ソフトパッドが取り付けられている場合、ソフトパッドを取り外します。



ポイント！

ソフトパッド座面の股ベルト用の穴は小さ目になっています。股ベルトから抜き取る際には無理をせずゆっくりと抜くようにしてください。

注意

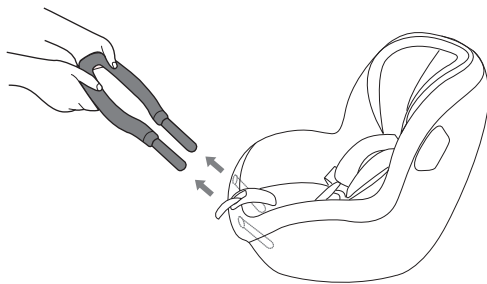
前向き取り付け時、ソフトパッドは使用できません

お子さまが窮屈なばかりか、正しくお子さまを本製品に固定できなくなるおそれがあります。前向き取り付け時は、ソフトパッドを取り外し、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

i-Anchor

02

リバウンドバーが取り付けられている場合は、リバウンドバーを抜き取ります。



⚠ 注意

取り外したリバウンドバーを車内に放置しないこと

事故や急制動の際に、リバウンドバーが動き、お子さまや他の乗員にあたり思わぬ事故につながるおそれがあります。取り外したリバウンドバーは、車内に放置しないでください。

⚠ 注意

前向き取り付け時、リバウンドバーは使用しません

お子さまの乗り降りに邪魔になったり、前の座席に干渉したりするおそれがあります。前向き取り付け時はリバウンドバーを取り外し、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

i-Anchor

03

『アイ・アンカーフィックスベース』のチャイルドシートマウントに、取り付けバーの位置を合わせて本製品を乗せます。カチッと音がして、『アイ・アンカーフィックスベース』に固定されるまで差し込んでください。



i-Anchor

04

『アイ・アンカーフィックススペース』の左右のシェルインジケーターが両方とも緑色になっていることを確認します。両方、またはいずれか一方でも赤色の場合には、本製品が正しく取り付けられていませんので、もう一度取り付けなおしてください。また、念のため、軽く本製品を動かして、確実に『アイ・アンカーフィックススペース』に固定されている事を確認してください。



⚠ 危険

シェルインジケーターが赤色のまま使用しないこと

『アイ・アンカーフィックススペース』のシェルインジケーターは、本製品が『アイ・アンカーフィックススペース』に正しく固定されている事を確認するインジケーターです。両方の場合はもちろん2つのシェルインジケーターのいずれか一方でも完全に緑色になっていない場合、そのまま使用してはいけません。

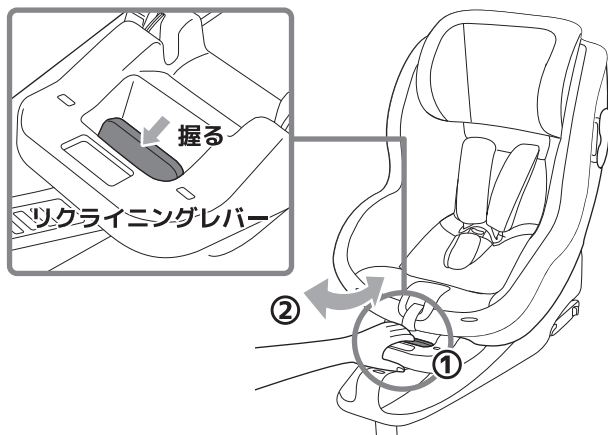
i-Anchor

リクライニングの調節

01

『アイ・アンカーフィックススペース』のリクライニングを適切に調節します。お子さまの成長に合わせ、リクライニングを調節してお使いください。

リクライニングを調節するには、『アイ・アンカーフィックススペース』の①リクライニングレバーを握りながら、②前後に動かしてリクライニング角度を調節します。リクライニングは7段階で調節可能で、固定可能な位置でカチッと音がして固定されます。



取り付けの確認

『アイ・アンカーフィックススペース』の取扱説明書を参照し、正しく取り付けができているか今一度ご確認ください。確認項目は、『アイ・アンカーフィックススペース』の固定方法（ISO-FIX または 3 点式シートベルト）によって異なりますので、該当する項目を参照してください。

i-Anchor

お子さまの乗せかた

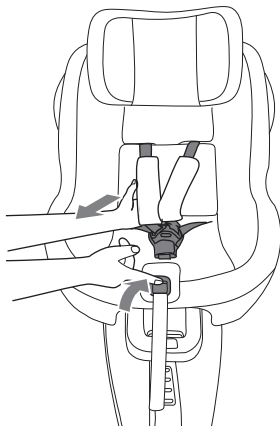
⚠ 注意

本製品を取り付けてからお子さまを乗せること

『アイアンカーフィックスベース』を自動車の座席に固定し、本製品を『アイアンカーフィックスベース』に取り付けてから、お子さまを乗せるようにしてください。本製品単体でお子さまを乗せると、安定せず、本製品が転倒するおそれがあります。

01

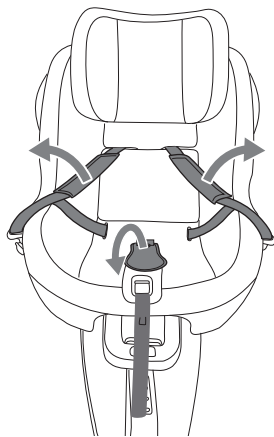
P42「肩ベルトをゆるめる（引き出す）」を参照し、あらかじめ肩ベルトをゆるめておきます。



i-Anchor

02

お子さまが、受けバックルや差し込みタングの上に座らないよう、バックルを外し、差し込みタングを外側に出し、股ベルト（受けバックル）を前側に倒しておきます。



i-Anchor

03

お子さまの背筋を伸ばし、股ベルトを両足の間にに入れて、両腕を肩ベルトの間に通り、楽な姿勢にして本製品に座させます。安全のため、股ベルトがお子さまの骨盤の上を通るようにしてください。



⚠ 危険

お子さまを正しい姿勢で乗せること

誤った姿勢で乗っていると、お子さまを正しく固定できず、事故や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずお子さまを正しい姿勢で本製品に乗せてください。

i-Anchor

04

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認して、腰ベルトをお子さまの骨盤の上を通すようにして、カチッと音がるようにバックルを留めます。



警告

乳幼児ベルトをねじらないようにすること

乳幼児ベルトにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認してください。

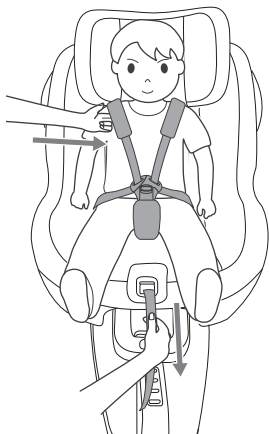
ポイント！

乳幼児ベルトがきつくてバックルが留めにくい場合、P42「肩ベルトをゆるめる(引き出す)」を参照して、肩ベルトをゆるめてください。無理に留めようとししないでください。

i-Anchor

05

肩ベルトパッドとお子さまの胸部の間に、片手の指を二本差し込んで、別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引っ張り、ベルトを締めつけていきます。差し込んだ指が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで、アジャスターベルトを締めつけてください。前向き取り付けの場合、大人の指が二本差し入れられる程度の締め付けが最適です。



⚠ 危険

アジャスターベルトは慎重にゆっくりと操作すること

肩ベルトが強く締めすぎるとおそれがありますので、アジャスターベルトを、勢いよく引っ張らないでください。

強く肩ベルトが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締め付けがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまを正しく保護することができません。前向き取り付けの場合、必ず、大人の肩の指が2本差し込める程度に締めつけるようにしてください。

i-Anchor

06

最後に、もう一度、バックルが正しく留まっているか、肩ベルト、股ベルトに、ゆるみやねじれがないか確認してください。



ポイント！

実際にご使用になる前に、P73の「肩ベルトの高さ調節」を確認し、適切な高さ
に肩ベルトを調節してください。

07

お子さまを降ろすには、バックルを外して、お子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっ
くりとお子さまを降ろしてください。



警告

お子さまを勢いよく降ろさないこと

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場
合など、重大な事故につながるおそれがあります。肩ベルトに引っかからないよう
に注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

お子さまにバックルを触らせないこと

お子さまがバックルボタンに触れると、バックルが外れるおそれがあります。お子
さまには、むやみにバックルに触れないように言い聞かせてください。

i-Anchor

肩ベルトの高さ調節

肩ベルトの適切な高さは、後ろ向き取り付け時と、前向き取り付け時で異なりますのでご注意ください。

本製品では、ヘッドレストと肩ベルトの高さ調節は連動しています。ヘッドレストの高さを調節すると、自動的に肩ベルトの高さも調節されます。

お子さまの成長に合わせて、ヘッドレストと肩ベルトの高さを適切に調節してください。

01

あらかじめ肩ベルトをゆるめておきます。



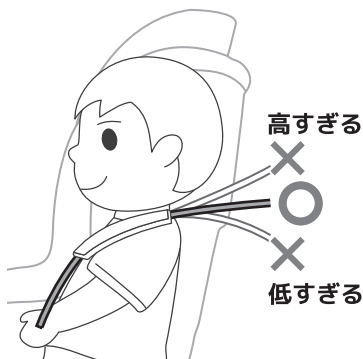
ポイント！

肩ベルトの高さを調節すると、肩ベルトの長さも若干変化しますので、調節時には肩ベルトをゆるめておいてください。

02

前向き取付時には、お子さまの肩の位置よりも高く、かつ最もお子さまの肩の位置に近い高さに調節します。

P40「ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節」を参照し、肩ベルトを適切な高さに調節してください。



i-Anchor

危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは、必ず、適切な高さに調整してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどとして、重大な事故につながるおそれがあります。

注意

やさしく、ゆっくりと操作すること

肩ベルトの高さ調節は、お子さまの頭部に負担がかからないよう、やさしく、ゆっくりと操作してください。

i-Anchor

取り外しかた

01

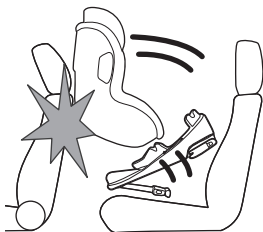
①『アイ・アンカーフィックスベース』のリリースボタンを押して、固定を解除し、そのままゆっくりと②本製品を持ち上げて取り外します。



警告

本製品を『アイ・アンカーフィックスベース』から取り外したら必ず車外に出しておくこと

本製品を『アイ・アンカーフィックスベース』から取り外したら、そのまま車内に置いておかないでください。また、『アイ・アンカーフィックスベース』も同様に取り外した場合には車外に出しておきます。本製品や『アイ・アンカーフィックスベース』が正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品や『アイ・アンカーフィックスベース』が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



i-Anchor

警告

お子さまを乗せたまま本製品の取り付け、取り外しをしないこと

お子さまが落下したり、本製品が落下したりするなどして思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえ乳幼児ベルトで正しく固定されていたとしても、お子さまを乗せたまま本製品を持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。



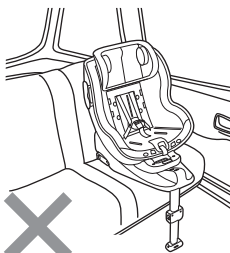
お手入れのしかた

本製品では、お手入れのため、シートのカバー、パッド類を取り外すことができます。お手入れ後は、取り外したカバー、パッド類を必ず元に戻してください。

警告

部品を取り外した状態で使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本取扱説明書で別段の指示がない限り、部品を取り外して使用しないでください。シートカバーやウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、お手入れ時も含め、決して取り外した状態で使用しないでください。また、同様に、チャイルドシートに貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。



i-Anchor

パッド類、リバウンドバーのお手入れ

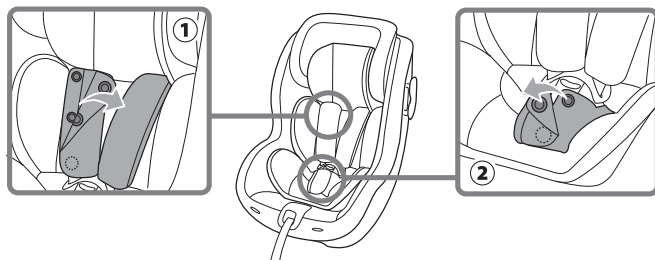
01

あらかじめ『アイ・アンカーフィックススペース』から本製品を取り外し、肩ベルトパッド、股ベルトパッド、ソフトパッド、リバウンドバーを取り外します。

02

肩ベルトパッドは、①スナップボタンで留められています。スナップボタンを外して左右の肩ベルトパッドを取り外します。

股ベルトパッドは、②スナップボタンで留められています。スナップボタンを外して股ベルトパッドを取り外します。



i-Anchor



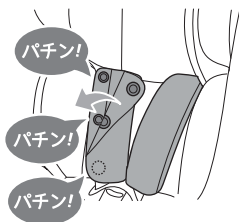
警告

肩ベルトパッド、股ベルトパッドを正しく取り付けなおすこと

本製品が所定の性能を発揮しなくなるおそれがありますので、取り外した肩ベルトパッドと股ベルトパッドは、正しく取り付けなおしてください。

肩ベルトパッドには向きがあります。肩ベルトパッドを取り付ける場合は、スナップボタン側を外側（スナップボタンのない方をお子さまの首側）にして肩ベルトに取り付けてください。

左右とも、全てのスナップボタンがパチンと音がして留められたことを確認してください。



股ベルトパッドは、股ベルトを包むようにして取り付けます。スナップボタンがパチンと音がして留められたことを確認してください。

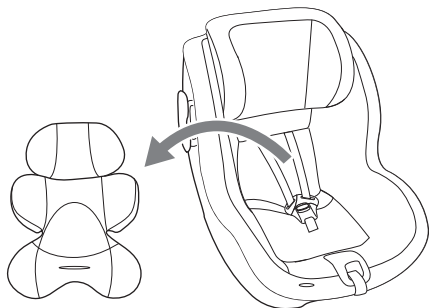


i-Anchor

03

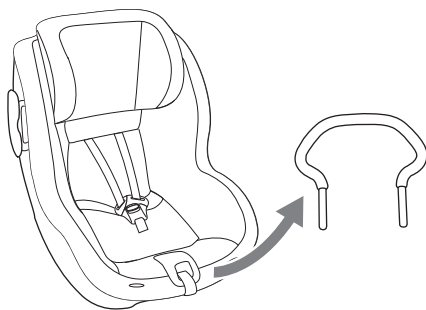
P32「ソフトパッドの使いかた」を参照して、ソフトパッドを本製品から取り外し、ソフトパッドの頭部、背部のクッションも取り外しておきます。取り外したクッションは、お手入れが完了するまで、お子さまの手の届かない場所で保管し、お手入れ後は、必ずソフトパッドに取り付けてください。

以下の表示に従ってお手入れしてください。



04

リバウンドバーを取り外します。



i-Anchor

肩ベルトパッド、股ベルトパッド、ソフトパッドのお手入れ方法

- 30℃以下の水で手洗いしてください
軽く絞って、形を整え、陰干ししてください。
- アイロンは使用できません
- タンブラー乾燥はしないでください
破損、縮みの原因となります。
- ドライクリーニングはできません
- 有機溶剤を使用しないでください
ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。
- 漂白剤は使用できません
劣化を早め、変退色の原因となります。
- きつく絞らないでください
型崩れ、変形の原因となります。

注意

指定外の方法で洗濯しないこと

指定外の方法でソフトパッドのカバーを洗うと、破損、破れ、型崩れしたり、縮んだりするおそれがあります。

i-Anchor

05

リバウンドバーは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。

汚れがひどい場合には、お湯または水に薄めた中性洗剤を混ぜてお使いください。

洗剤を使用した場合は、汚れを落とした後、しっかりと洗剤を拭きとってください。

以下の表示に従ってお手入れしてください。

リバウンドバーのお手入れ方法

- **研磨剤、有機溶剤は使用しないでください**
クレンザーなどの研磨剤の入った洗剤、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- **水、お湯、洗剤を直接かけないでください**
- **潤滑油、シリコンオイル等の油や潤滑剤は絶対に使用しないでください**

危険

絶対に潤滑剤を使用しないこと

本製品の破損、変質のおそれがあるのみならず、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。いかなる場合でも、潤滑油、シリコンオイル等の油や、それに類する潤滑剤を使用してはいけません。

06

ソフトパッド、リバウンドバー、肩ベルトパッド、股ベルトパッドの取り付けは、取り外しの逆の手順で行ってください。

i-Anchor

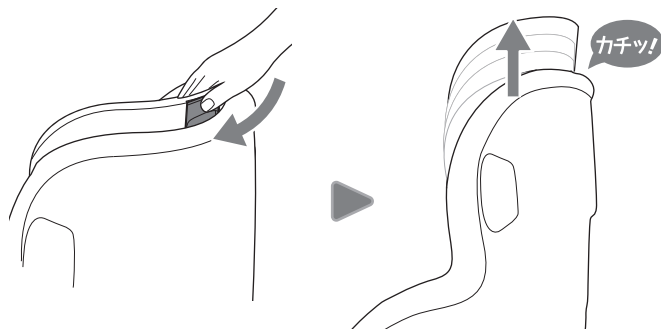
シートカバー類のお手入れ

ヘッドレストのカバーとシートのカバーをそれぞれ取り外すことができます。

01

あらかじめ、バックルは外しておきます。

ヘッドレストが低い位置に調節されていると、ヘッドレストのカバーの取り付け部に手が届きません。P40「ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節」を参照して、ヘッドレストを、高い位置に調節します。

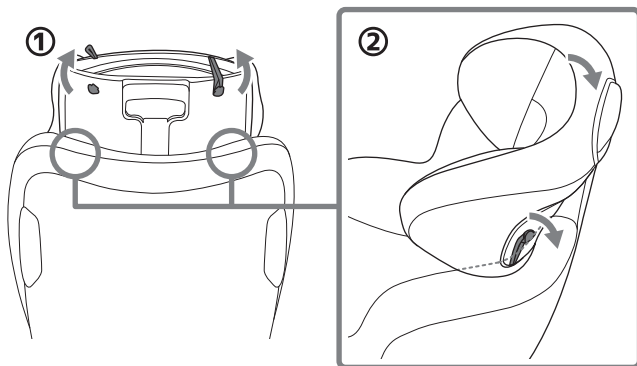


i-Anchor

02

①ヘッドレスト背面の2か所（ヘッドレストアジャスターの左右）のフックに掛けられているヘッドレストのカバーのゴムを取り外します。

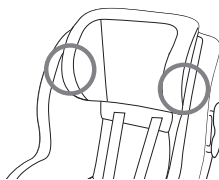
②ヘッドレストの左右外側とシートとの間に手を入れ、ヘッドレストのカバーのゴムを取り外します。左右とも取り外してください。



⚠ 注意

注意して作業してください

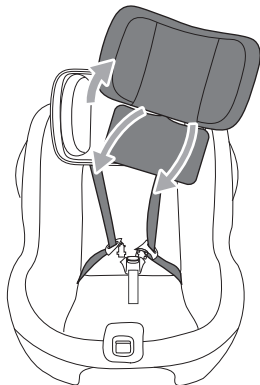
ヘッドレスト外側左右と、シートの間は狭くなっています。手や指をケガしないよう注意して、手を差し入れてゴムを取り外してください。



i-Anchor

03

肩ベルトがヘッドレストのカバーの切れ込みに差し込まれていますので、肩ベルトを抜き、ゆっくりと、ヘッドレストのカバーを前上方向に取り外してください。



⚠ 注意

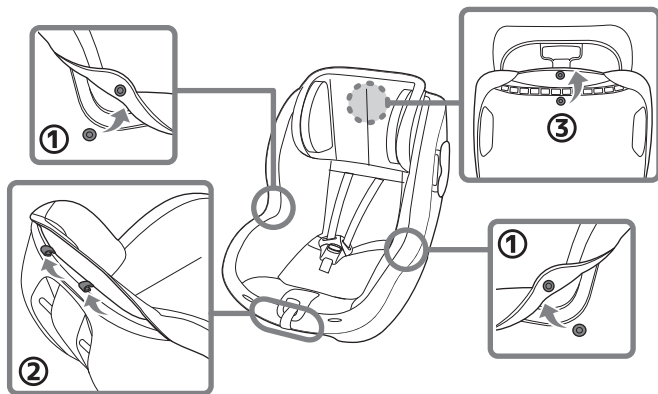
ゆっくりと作業してください

ヘッドレストのカバーが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないか、4 か所すべてのゴムが外れているか確認するようにしてください。またヘッドレストに取り付けてある、衝撃吸収材、ウレタン等に傷をつけないように注意してください。

i-Anchor

04

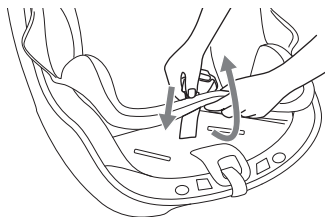
次に、シートのカバーを取り外します。①本体左右でシートのカバーを留めているフックボタンを左右とも外し、②本体前端でシートのカバーを本体の縁に2か所で留めている樹脂製のフックを取り外し、③本体背面でシートのカバーを留めているフックボタンを左右とも外します。



i-Anchor

05

受けバックルをシートのカバーの穴から抜き、シールの前側からシートのカバーをゆっくりとめくり上げていきます。



ポイント！

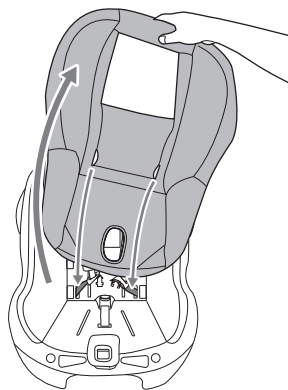
ベルトアジャスター部分は、ベルトアジャスターの外側の溝からシートのカバーの縁を取り外します。シートのカバーを取り付ける際には、溝にカバーの縁を押し込んでいくようにしてください。



i-Anchor

06

腰ベルトがシートのカバーの切れ込みに差し込まれていますので、腰ベルトを抜き、ゆっくりと、カバーを前上方向にゆっくりと抜き取っていきます。乳幼児ベルトやバックルに引っ掛からないように注意してください。



⚠ 注意

ゆっくりと作業してください

シートのカバーが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないか、すべてのフック、ホックボタンが外れているか確認するようにしてください。また本体やヘッドレストに取り付けてある、衝撃吸収材、ウレタン等に傷をつけないように注意してください。

衝撃吸収材、ウレタン、乳幼児ベルトを取り外さないこと

本体やヘッドレストに取り付けてある、衝撃吸収材、ウレタンならびに乳幼児ベルトは、取り外しできません。無理に取り外そうとしないでください。

i-Anchor

07

取り外した、シートのカバー、ヘッドレストのカバーは、以下の表示に従ってお手入れしてください。

ヘッドレスト・シートのカバーのお手入れ方法

- 30°C以下の水で手洗いしてください
軽く絞って、形を整え、陰干ししてください。
- アイロンは使用できません
- タンブラー乾燥はしないでください
破損、縮みの原因となります。
- ドライクリーニングはできません
- 有機溶剤を使用しないでください
ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。
- 漂白剤は使用できません
劣化を早め、変退色の原因となります。
- きつく絞らないでください
型崩れ、変形の原因となります。

注意

指定外の方法で洗濯しないこと

指定外の方法でソフトパッドのカバーを洗うと、破損、破れ、型崩れしたり、縮んだりするおそれがあります。

i-Anchor

08

ヘッドレストのカバー、シートのカバーの取り付けは、取り外しの逆の手順で行ってください。

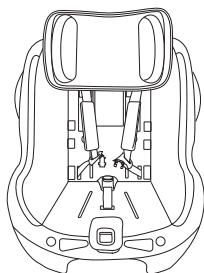
乳幼児ベルト類のお手入れ

乳幼児ベルトは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。

汚れがひどい場合には、お湯または水に薄めた中性洗剤を混ぜてお使いください。

洗剤を使用した場合は、汚れを落とした後、しっかりと洗剤を拭きとってください。

以下の表示に従って、お手入れします。



乳幼児ベルトのお手入れ方法

- **研磨剤、有機溶剤は使用しないでください**
クレンザーなどの研磨剤の入った洗剤、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。

- **水、お湯、洗剤を直接かけないでください**

- **潤滑油、シリコンオイル等の油や潤滑剤は絶対に使用しないでください**

i-Anchor

危険

絶対に潤滑剤を使用しないこと

本製品の破損、変質のおそれがあるのみならず、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。いかなる場合でも、潤滑油、シリコンオイル等の油や、それに類する潤滑剤を使用してはいけません。

注意

濡れたままカバー類を取り付けないこと

さび、かび、劣化の原因となりますので、カバー類は十分に乾かしてから本体に取り付けてください。また、本体を濡らしてしまった場合は、柔らかい布で水分をよくふき取り、十分に乾かしてからカバー類を取り付けてください。

i-Anchor

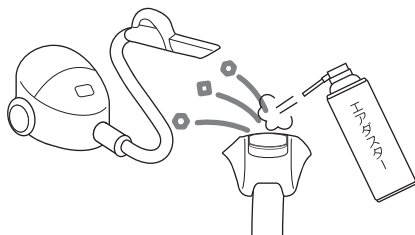
バックルのお手入れ

01

受けバックルの表面と差込タンクは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。

02

受けバックルの内側は、ご家庭の掃除機でゴミやほこりを吸い取るか、市販のエアダスターで中のゴミ、ほこりを吹き飛ばすようにしてください。



⚠ 危険

絶対に洗剤類や潤滑剤を使用しないこと

バックルが正しく機能しなくなるおそれがありますので、差込タンク、受けバックルのお手入れには、絶対に洗剤類や潤滑剤を使用しないでください。なにも混ぜていない水かお湯を使ってお手入れしてください。含まれる成分によっては、樹脂部分の劣化、変質の原因となりますので、市販のウェットタオル（ウェットティッシュ）や赤ちゃんのお尻ふきは使用しないでください。

バックルに異常がある場合は直ちに使用を中止すること

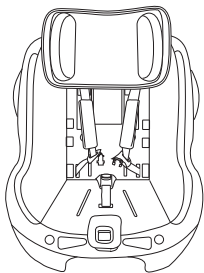
正しく差込タンクを受けバックルに差してもカチツ!と音がしない、バックルリリースボタンが動かないなど、バックルに異常を発見した場合はただちに本製品の使用を中止して、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

i-Anchor

本体(樹脂部分)のお手入れ

01

本体の樹脂部分(サイドインパクトシールドを含む)は、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。



⚠ 危険

絶対に洗剤類や潤滑剤を使用しないこと

本製品が正しく機能しなくなるおそれがありますので、洗剤類や潤滑剤を使用しないでください。なにも混ぜていない水かお湯を使ってお手入れしてください。含まれる成分によっては、樹脂部分の劣化、変質の原因となりますので、市販のウェットタオル(ウェットティッシュ)や赤ちゃんのお尻ふきは使用しないでください。

i-Anchor

保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、自動車から取り外しておいてください。

ほこりがバックル内に入らないよう、保管時もバックルは留めておくようにしてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のアたる露天では保管しないでください。



注意

バックルを清潔に保つこと

バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう、お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示シートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	ジョーイ『アイ・アンカーフィックスベース』対応専用シート アイ・アンカー		
お買い上げ日			
お客様	ご住所	お買い上げ 販売店名	店名
	〒	お名前 電話番号	住所 電話番号

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げいただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

1. 保証期間中に正常な使用状態において、万一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。

2. 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。

- ・本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
- ・お客様のご購入を証明することができない場合
- ・本取扱説明書、本製品本体『アイ・アンカーフィックスベース』のこれらにおいて指示された内容に従わなかったために生じた、故障、破損、不良の場合

- ・正常な使用により生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類、ベルト類等縫製製品のほつれの場合
- ・部品の紛失の場合

3. 次のような場合には、安全のため保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。

- ・事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
 - ・誤使用、または改造、不当な分解によって発生した故障、破損、汚損の場合
 - ・本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
 - ・並行輸入品や海外で購入された製品の場所
 - ・業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
 - ・本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
 - ・本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
4. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートベルトの傷、取り付け痕等は保証いたしかねます
5. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。

6. 保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

本製品に関するお問い合わせ先：株式会社カトージ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日 10～17時（土日祝日を除く）

<http://www.katoji.co.jp/>

Joie 日本総代理店
株式会社カトージ
〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋 39-2

Joie™

1405_ANBASEAT_44